

⑫ 公開特許公報(A) 平2-285171

⑤ Int. Cl.³E 04 H 1/12
A 47 K 4/00
H 04 N 5/64

識別記号

3 0 1

庁内整理番号

Z
F7606-2E
7705-2D
7605-5C
7605-5C

⑬ 公開 平成2年(1990)11月22日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 浴室装置

⑯ 特 願 平1-108663

⑰ 出 願 平1(1989)4月26日

⑱ 発 明 者 綱 嶋 正 樹 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 ⑱ 発 明 者 原 田 豊 平 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 ⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
 ⑳ 代 理 人 弁理士 栗 野 重 孝 外1名

明 細 書

1、発明の名称

浴室装置

2、特許請求の範囲

浴室壁面に開口部を設け前記開口部には浴室外から浴室内に回動自在なる設置棚を設け、前記設置棚には浴室内部に画面を向けてテレビ受像機を載置してなる浴室装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、テレビ受像機を備えた浴室装置に関するものである。

従来の技術

従来のこの種の浴室装置は、第4図に示すように、浴室壁面1に凹設部を設け、画面を浴室内部に向けてテレビ受像機2を配設して身体洗浄、保温の快適さに加え、テレビ観賞ができて、入浴の快適さが向上するようになされている(特公昭59-10612号)。これらの浴室装置は、テレビ受像機2を浴室壁面1の凹設部に配設してい

るだけのものであるため、テレビ受像機2は常に浴室内部に露出していた。

発明が解決しようとする課題

ところが、このような従来の構成では、テレビ受像機2が常に浴室内部に露出しているため、例えば清掃時などテレビ受像機2に外力が直接加わり損傷するなど大変危険であるという課題があり、このため、損傷させないよういつも気をつけていなくてはならないため、快適さが損なわれるという課題もある。

またテレビ観賞をしない時でも常にテレビ受像機2が浴室内部に露出しているため、浴室内部に異質な物があるため大変異和感を感じ、やすらぎ感が低減し快適さがいま一歩であるという課題があった。

本発明はこのような課題を解決するもので、簡単な構成でテレビ受像機の損傷を防止することができしかも異和感を低減し快適さ、やすらぎ感を向上させた浴室装置を提供するものである。

課題を解決するための手段

本発明の浴室装置は、浴室壁面に開口部を設け、開口部には室内から室外に回動自在に載置棚を設けて、この載置棚にテレビ受像機を載置したものである。

作 用

本発明の浴室装置はテレビ受像機が室内から室外に回動自在に設けられた載置棚に載置されていることにより、清掃時などテレビ受像機に外力が直接加わる可能性がある場合、浴室内部から浴室外部に回動し、またテレビ観賞を必要としない場合でも浴室内部から浴室外部に回動しておけば、テレビ受像機の損傷を防止できると共に、テレビ受像機が浴室内部に見えなくなるため、異和感が低減され、やすらぎ感や、入浴の快適さが向上するものである。またテレビ受像機を浴室内部から浴室外部に回動した時、浴室外部から浴室内部に部品載置棚が出るようにしておけば浴室内部の小物を載置でき大変便利で作り勝手がよくなるものである。

実 施 例

以下、本発明の実施例について、図面を参照し

た安全であると共に、浴室内部にテレビ受像機2があることによる浴室内部の異和感が軽減され、やすらぎ感が得られ、入浴の快適さがより向上することができ有利である。

また、第3図において、テレビ受像機2を載置する載置棚4と一体に部品置棚9をテレビ受像機2が浴室外部にある時部品置棚9が浴室内部にあるように設けることにより、浴室内部の小物を載置出来大変便利で使い勝手がよくなり、よりいっそう快適さが向上することができ大変有利である。

発明の効果

以上のように本発明の浴室装置は簡単な構成でテレビ受像機を載置する載置棚を浴室内部から浴室外部へ、浴室外部から浴室内部へ回動自在に設けることにより、テレビ受像機も浴室内部から浴室外部へ回動自在としたものであり、テレビ受像機を浴室外部に回動させておけばテレビ受像機の損傷を防止できかつ浴室内部の異和感を低減することができ、やすらぎ感、入浴の快適感を向上することができる。

またテレビ受像機を浴室外部に回動させた時、部

品ながら説明する。

第1図において、浴室壁面1に開口部3を設けて、開口部3に回動自在に載置棚4を設け載置棚4が浴室内部にある時、テレビ受像機2が浴室内部に向くようテレビ受像機2を載置棚4に載置しており、招支具Aを介してテレビ受像機2を浴室内部から浴室外部へ、浴室外部から浴室内部へ自在に回動することができるようになっている。第2図において浴室内部には浴槽5と洗場6があり浴室壁面1にはシャワー7が取り付けられており、天井には照明器具8が取り付けられている。このようにすれば身体洗浄・保温・テレビ観賞などの機能を損なうことなく、テレビ受像機2が浴室内部から浴室外部へまた、浴室外部から浴室内部に自在に回動できるため、テレビ観賞をする時はテレビ受像機2を浴室内部に回動してテレビ観賞を行ない。テレビ観賞をしない時は浴室外部に回動することができる。よってテレビ受像機2を浴室外部に回動させておけば、浴室内部の清掃時など直接テレビ受像機2に外力が加わることがなく損傷を防止することができ、大

品載置棚が浴室内部にある構成とすることにより浴室内部の小物を載置することができ、大変使い勝手もよくなり実用上きわめて有利である。

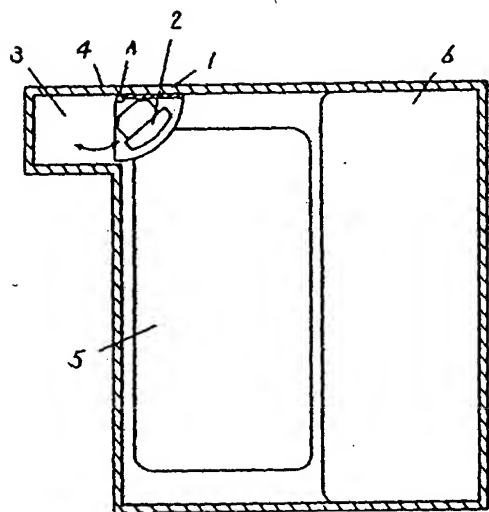
4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例における浴室装置の平面図、第2図はその斜視図、第3図は本発明の他の実施例における浴室装置の平面図、第4図は従来の浴室装置を示す斜視図である。

1……浴室壁面、2……テレビ受像機、3……開口部、4……載置棚、5……浴槽、6……洗場、7……シャワー、8……照明器具、9……部品載置棚。

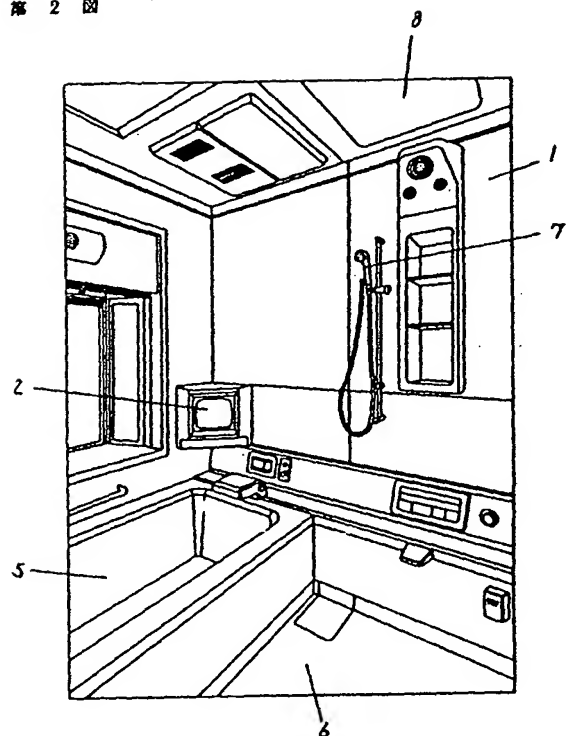
代理人の氏名 弁理士 栗 野 重 孝 ほか1名

第 1 図

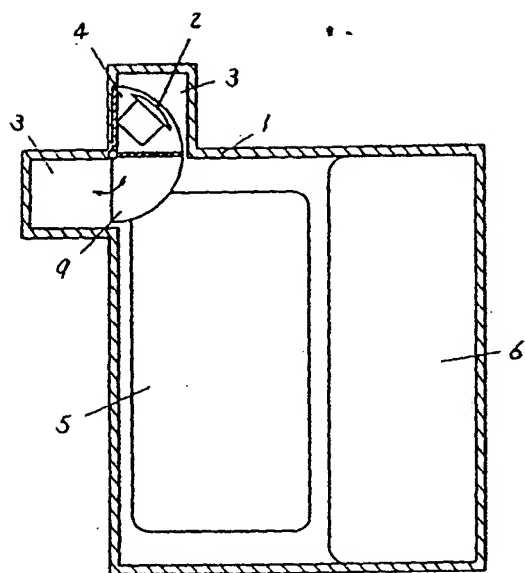


- 1…浴室壁面
- 2…テレビ受像機
- 3…開口部
- 4…載置棚
- 5…浴槽
- 6…洗い場

第 2 図

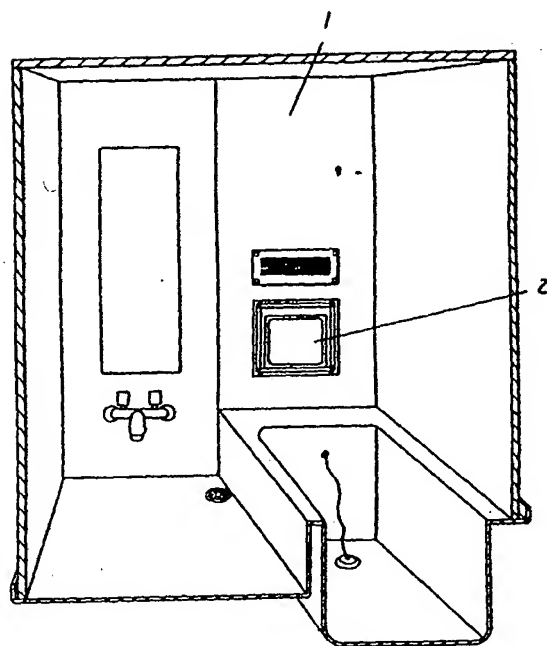


第 3 図



- 1…浴室壁面
- 2…テレビ受像機
- 3…開口部
- 4…載置棚
- 5…浴槽
- 6…洗い場
- 9…部品置棚

第 4 図



⑫ Int. Cl.³ 識別記号 庁内整理番号 ⑬ 公開 平成2年(1990)11月22日
 E 04 H 1/12 3 0 1 7606-2E
 // A 47 K 4/00 7705-2D
 H 04 N 5/64 Z 7605-5C
 F 7605-5C
 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 浴室装置

⑮ 特 願 平1-108662

⑯ 出 願 平1(1989)4月26日

⑰ 発 明 者 村 瀬 孝 治 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 ⑱ 発 明 者 原 田 豊 平 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 ⑲ 発 明 者 洲 塚 一 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 ⑳ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
 ㉑ 代 理 人 弁理士 栗野 重孝 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

浴室装置

2. 特許請求の範囲

浴槽と洗い場を並設し、浴室の立上り壁面にテレビ受像機を配設し、テレビ受像機は、その画面を浴室内側に向け、浴室内外へスライド自在としてなる浴室装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、テレビ受像機を備えた浴室装置に関するものである。

従来の技術

従来のこの種の浴室装置は、第8図に示すように、浴室1の立上り壁面6に凹設部2を形成し、この凹設部2内に画面4を浴室内側に向けて、テレビ受像機3を配設するとともに、テレビ受像機3を浴室内の湿気にさらさないよう、前記の凹設部2の開口面をガラス等の透光材料5で閉塞したものであった。

発明が解決しようとする課題

このような従来の構成では、テレビ受像機3を収納している凹設部2は、浴室1の立上り壁面6に固定されており、テレビ受像機3及びその画面4が、ガラス等の透光材料5を隔てて、常に浴室内に露呈していることになる。このため、浴室においてテレビ受像機3を観賞していない時、例えば浴室の清掃時などに、透光材料5を破損・損傷する可能性が大きく、そのため、テレビ受像機3は浴室内の湿気にさらされ、危険な状態となることもある。また常に、浴室壁面にテレビ受像機3の画面4が露呈していることは、浴室空間の全体の雰囲気損なう場合もあり、浴室空間に異和感を与えてしまうという課題があった。

本発明はこのような課題を解決するもので、浴室内に、テレビ受像機を常時露呈させることがなく、テレビ受像機の損傷を防止すると共に、浴室空間とテレビ受像機との異和感を軽減するようにしたものである。

課題を解決するための手段

本発明の浴室装置は、浴槽と洗い場を並設し、浴室の立上り壁面にテレビ受像機を配設し、テレビ受像機は、画面を浴室内側に向け、浴室内外へスライド自在としたものである。

作 用

本発明の浴室装置は、浴室に、画面を浴室内側に向け、浴室内外にスライド自在となるようテレビ受像機14を配設しているため、常時、浴室内にテレビ受像機が露呈することがない。そのため、テレビ受像機14と浴室とを隔絶する透光板15の、損傷防止の可能性が大きくなり、テレビ受像機14が浴室の湿った空間に露出する危険性が軽減される。また、テレビ観賞時以外は、浴室空間の雰囲気損なりことなく、浴室空間とテレビ受像機の異和感が軽減されることになる。

実 施 例

以下、本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。

図において、16は、浴室空間で、浴室には浴槽7と洗い場8が並設されている。9は、浴室の

しないことと共に、キャビネット12の浴室内に面する部分が浴室壁面と調和した仕上げとなっているため、浴室にテレビ受像機を設置しても、浴室内の雰囲気損なりことなく、浴室空間16に与える異和感は軽減される。

なお、上記実施例では、テレビ受像機14の収納部11を出窓10としたが、これに限定されるものでなく、第3図に示すように、前記収納部分11を立上り壁面に設けられた凹設部20としても本発明の効果を達成するものである。

発明の効果

以上実施例の説明より明らかなように、本発明によれば、以下の効果を奏するものである。

テレビ受像機が、浴室壁面内に収納可能なため、テレビ受像機露呈による破損・損傷を防止でき、またテレビ受像機露呈により、浴室空間に与える異和感を軽減できる。

4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例における浴室装置の平面断面図、第2図は同斜視図、第3図は本発明

壁であり、浴槽に面する壁面には出窓10が配設してある。第1図及び第2図に示すよう、出窓10は、板ガラス17を嵌めた採光部分と、テレビ受像機14を配設したキャビネット12が、浴室内外にスライド自在に配設できる機構21をもつ収納部11とで構成される。前記キャビネット12のテレビ受像機14の画面に対応する部分には、透光材料15が配置してあり、キャビネット12と透光材料15との間に防水パッキンが設けてある。また、キャビネット12の浴室内に面する部分には、浴室の壁面と調和するパネル材13が取付けられている。

上記構成において、テレビ受像機14を配設したキャビネット12が出窓10のキャビネット収納部11とスライド自在な構成となっており、浴室において、テレビ受像機14を観賞しない時はキャビネット12を出窓10内に収納できるため、浴室の清掃時に、キャビネット12の透光材料を破損・損傷する可能性が少なくなる。

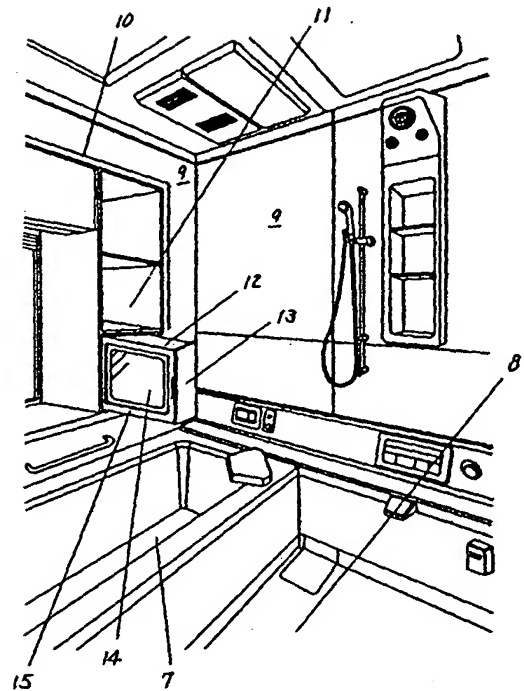
また、テレビ受像機14が、常時浴室内に露呈

の第2の実施例における平面断面図、第4図は従来例を示す斜視図、第5図はその側面断面図である。

7……浴槽、8……洗い場、9……立上り壁面、14……テレビ受像機。

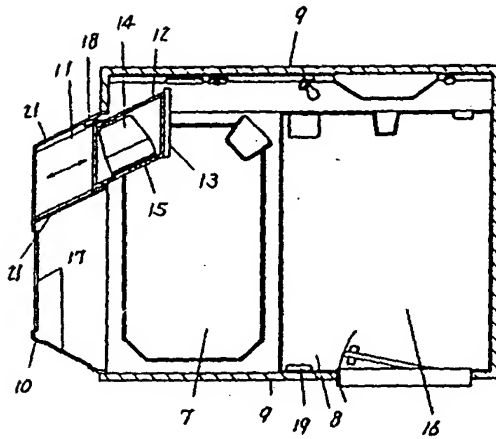
代理人の氏名 弁理士 栗 野 重 孝 ほか1名

第 2 図

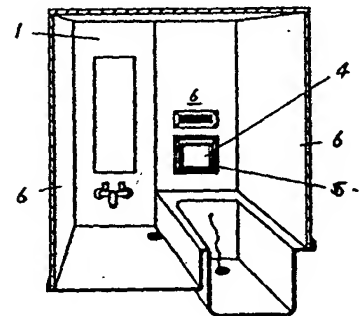


第 1 図

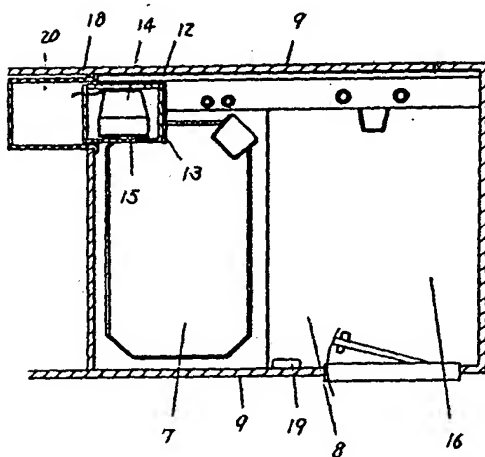
7—浴槽
8—洗い場
9—立上り面
14—テレビ受像機



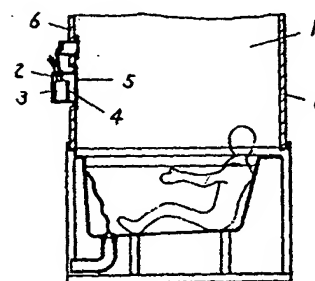
第 4 図



第 3 図



第 5 図



PAT-NO: JP402285171A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02285171 A
TITLE: BATHROOM DEVICE
PUBN-DATE: November 22, 1990

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
TSUNASHIMA, MASAKI
HARADA, TOYOHEI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD N/A

APPL-NO: JP01108663
APPL-DATE: April 26, 1989

INT-CL (IPC): E04H001/12, A47K004/00 , H04N005/64
US-CL-CURRENT: 4/661

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent a TV receiver from being damaged and to make it possible to reduce a sense of incompatibility in a bathroom by providing a shelf capable of turning from the inside to the outside of the bathroom to an opening provided on the bathroom wall, and placing the TV receiver thereon.

CONSTITUTION: A shelf 4 capable of turning from the inside to the outside of a bathroom is provided in an opening 3 on the bathroom wall 1, and a TV receiver 2 is placed thereon with the screen of the receiver inward of the bathroom. The shelf 4 is turned to the inside of the bathroom to

enjoy the TV,
and when the TV is not used, the shelf 4 is turned to the outside
of the
bathroom to protect the TV receiver 2 and, at the same time, a
sense of
incompatibility in the bathroom is reduced.

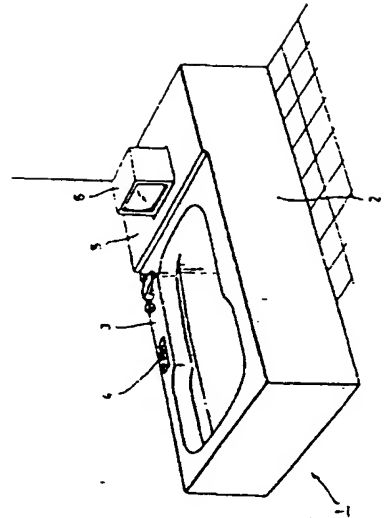
COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

BATH-TUB PROVIDED WITH ENCLOSABLE TV SET

JP 4-285511 (A) (43) 9.10.1992 (19) JP
Appl. No. 3-74489 (22) 14.3.1991
TOTO LTD (72) HIROMASA NOMURA(1)
Int. Cl. A47K3/00

PURPOSE: To enable a TV set 6 to be viewed from the proximity thereof by mounting the TV set 6 to a bath-tub body 2 to be enclosable therein and project-
ed from the bath-tub body 2, and to facilitate cleaning or the like of the bath-
tub by enclosing the TV set 6 in the bathtub and removing an obstructive
projection relating to the TV set from the bathtub.

CONSTITUTION: A TV set 6 is characterized by being mounted to a bathtub
2 in such a manner as enclosable in the bathtub body 2.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-285511

(43) 公開日 平成4年(1992)10月9日

(51) Int.Cl.³

A 4 7 K 3/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

Z 7150-2D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平3-74489

(22) 出願日 平成3年(1991)3月14日

(71) 出願人 000010087

東陶機器株式会社

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

(72) 発明者 野村 廣方

神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目8番1号 東陶機器株式会社茅ヶ崎工場内

(72) 発明者 青山 憲一郎

神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目8番1号 東陶機器株式会社茅ヶ崎工場内

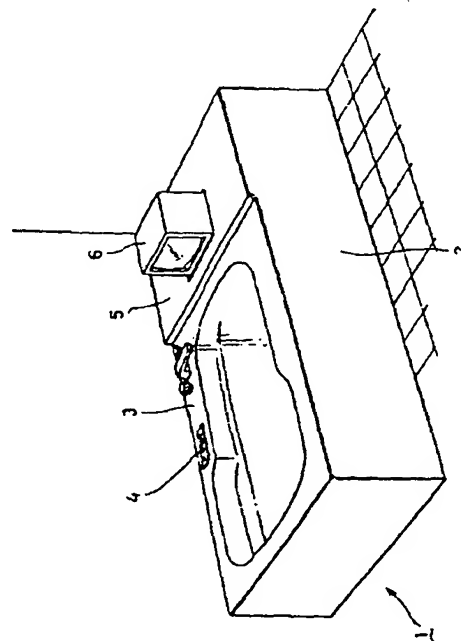
(74) 代理人 弁理士 下田 容一郎 (外2名)

(54) 【発明の名称】 収納式テレビ付き浴槽

(57) 【要約】

【構成】 浴槽本体2にテレビ受像機6を取付け、且つ、このテレビ受像機6を浴槽本体2に収納可能にしたことを特徴とする。

【効果】 浴槽本体2にテレビ受像機6を取付け、且つ、このテレビ受像機6を浴槽本体2に収納可能にしたので、テレビ受像機6を浴槽本体2から突出させることでテレビを近くで見ることができる。また、テレビ受像機6を浴槽本体2に収納すれば、浴槽本体2はテレビ受像機に係る突出物が無くなり、邪魔にならず、掃除等が容易になる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 浴槽本体に出没自在にテレビジョン受像機を取付けたことを特徴とする収納式テレビ付き浴槽。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は浴槽の改善に関する。

【0002】

【従来の技術】 浴室には浴槽、洗い場、湯水混合水洗及びシャワーが配置されている。ところで、近年の生活様式の多様化に伴って、入浴中にテレビジョン（以下、
「テレビ」という）を見たいという要求がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、普通のテレビジョン受像機（以下、「テレビ受像機」という）を浴室内に置くことは邪魔であり、浴室や浴槽の掃除の妨げとなる。

【0004】

【課題を解決するための手段】 そこで、本発明は浴槽本体にテレビ受像機を取付け、且つ、このテレビ受像機を浴槽本体に収納可能にしたことを特徴とする。

【0005】

【作用】 テレビ受像機を浴槽本体から突出させることで、テレビを近くで見ることができる。また、テレビ受像機を浴槽本体に収納すれば、浴槽本体はテレビ受像機に係る突出物が無くなり、邪魔にならない。

【0006】

【実施例】 本発明の実施例を添付図面に基いて以下に説明する。なお、図面は符号の向きに見るものとする。図1は本発明に係る収納式テレビ付き浴槽の斜視図であり、浴槽1はFRP（強化プラスチック）射出成形による一体形の浴槽本体2のリム3にリモートコントローラ4（以下、「リモコン4」と略す）が着脱自在に取り付けられ、リム3より一段高く形成されたエプロン部5にテレビ受像機6を備えたことを特徴とする。

【0007】 図2は図1の要部断面図であり、テレビ受像機6は、エプロン部5の矩形開口7を上昇下降するものであり、テレビ台板8を介して油圧シリンダ9で支承されている。

【0008】 また、エプロン部5の背面には開口7を塞ぐためのスライド板10が取付けられ、このスライド板10はロープ11、12を介して前進用シリンダ13と後進用シリンダ14とで強制移動される。図中15、15は上下方向に伸びたガイドレールであり、16、16はガイドローラである。

【0009】 図3は本発明に係る収納式テレビ付き浴槽の機器配置図であり、リモコン4は赤外線を送信するテレビ受像機6へ発射してテレビ受像機6のオン・オフ、チャンネル切換及び音量調整を行なう。更に、リモコン4は別のコントローラ18にも電気的に接続されていて、このコントローラ18は油圧ユニット19及び電磁切替弁20

…を制御し、油圧シリンダ9や前進用・後進用シリンダ13、14を個別に作動させる。

【0010】 以上の構成からなる収納式テレビ付き浴槽の作用を次に述べる。リモコン4が操作されると、例えば図2における後進用シリンダ14がそのピストンロッド14aを下降してスライド板10を図左から右へ後退せしめ、開口7をあける。

【0011】 次に、油圧シリンダ9のピストンロッド9aが前進して、テレビ受像機6を上昇せしめる。テレビ受像機6は開口7を通過して、エプロン部5の上方に突出する（図1）。

【0012】 従って、入浴者は自由にテレビを楽しむことができる。

【0013】 テレビ受像機6が不要になった場合には、前記手順と逆の順でテレビ受像機6をエプロン部5の下まで下降し（図2の位置）、前進用シリンダ13を作動してスライド板10を前進（図右から左へ）せしめて、エプロン部5の開口7を塞ぐ。

【0014】 テレビ受像機6がエプロン部5の下方、即ち浴槽本体2内に収納されると、突出物が無くなるので浴室並びに浴槽の掃除は容易になる。

【0015】 図4は本発明に係る収納式テレビ付き浴槽の別実施例図であり、テレビ受像機6は角ボックス21に収納され、この角ボックス21は前板22がガラス又はアクリル板で裏板23に空気孔24…がけられている。

【0016】 油圧シリンダ25で上下されるが、図4は上昇状態を示し、ゴムシール26が角ボックス21の下部にシール嵌合していることに特徴がある。下限状態では、角ボックス21の天板27の上面がエプロン部5の上面と面一になるよう、昇降ストロークが調整されている。

【0017】 図4に示す別実施例によれば、エプロン部5の平面寸法が小さくでき、且つ図2のスライド板10やシリンダ13、14が不要になる。

【0018】

【発明の効果】 以上に述べた通り本発明は、浴槽本体にテレビ受像機を取付け、且つ、このテレビ受像機を浴槽本体に収納可能にしたので、テレビ受像機を浴槽本体から突出させることで、テレビを近くで見ることができる。また、テレビ受像機を浴槽本体に収納すれば、浴槽本体はテレビ受像機に係る突出物が無くなり、邪魔にならない。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る収納式テレビ付き浴槽の斜視図

【図2】 図1の要部断面図

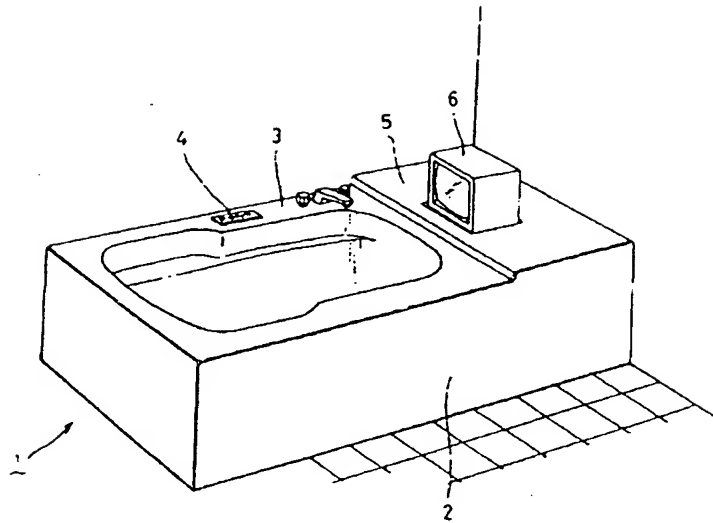
【図3】 本発明に係る収納式テレビ付き浴槽の機器配置図

【図4】 本発明に係る収納式テレビ付き浴槽の別実施例

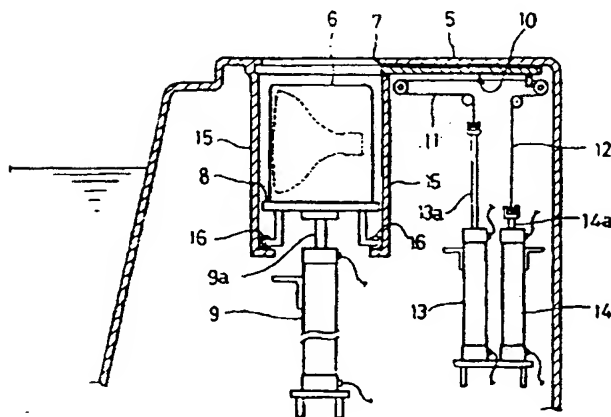
【符号の説明】

1…浴槽、2…浴槽本体、6…テレビジョン受像機。

【図1】



【図2】



【図4】

